



シナリオ2：『^{おおかみ}狼の刻^{とき}』

トレーラー

まだ人類が深い森に囲まれて暮らし、野生獣の脅威がひとびとの目の前にあった頃。ヨーロッパでは、狼がもっとも飢えて攻撃的になる冬至から公現祭にかけての危険な期間を、狼の刻と呼んだという。

いま、大都会東京に、狼の刻が訪れようとしている。欧州を荒らし回った危険な人狼、“月喰らい”が、日本に逃げてきたというのだ。

この危機を聞きつけ、ヴァルハラが“月喰らい”の調査に動き出すのだった。

ラストクイェム
『狼の刻』

欲深き死者に永遠の終焉を

シナリオハンドアウト

各PCには以下の設定がつく。セッション開始前に、よくプレイヤーと相談すること。

ハンドアウト1：ソロ想定。アースィンを案内する。

ハンドアウト2：互いにバディである。ヴァルハラから指令を受ける。

ハンドアウト3：互いにバディである。ヴァルハラから指令を受ける。

ハンドアウト1 (PC①)

サンプルキャラクター：陣風の双牙
推奨スタイル：指定なし

関連項目：アースィン

レイヴンとして活動しているキミは、アースィンと名乗るベルセルクと出会った。彼はスイスに本拠を置く人狼の結社から派遣され、はるばる日本にやって来たという。日本へ逃げ込んで

きた悪しきベルセルク“月喰らい”を追うためだ。彼は討伐の協力を得るため、ヴァルハラとの接触を希望している。キミは彼をヴァルハラへ案内することにした。

ハンドアウト2 (PC②&PC④)

サンプルキャラクター：霜刃の天使、竜人の魔術師
推奨スタイル：指定なし

関連項目：封印指定の呪物

キミたちはバディで活動するレイヴンだ。その日キミたちは、封印指定の呪物を送り届ける任務を終えたところだった。郊外にあるヴァルハラ所有の保管庫までの行程は、キミたちに

とって散歩同然だった。しかしレイヴンの仕事は楽じゃない。呪物の搬入を終えた直後、埋葬局から連絡。休む間もなく新たな事件が発生したらしい。

ハンドアウト3 (PC③&PC⑤)

サンプルキャラクター：機械人形の観察者、双弾の吸血鬼
推奨スタイル：指定なし

関連項目：“ムーンイーターズ”

キミたちはバディで活動するレイヴンだ。練馬区にあるヴァルハラ本部に呼び出されたキミたちは、そこで新たな討滅指令を受け取る。近ごろ強引な手口で街を荒らし回る強盗団“ム

ーンイーターズ”が出現。この背後にいるのは、人ならぬ妖魔だと囁かれている。事件にレムレスが関わっている可能性もあるようだ。キミたちはさっそく調査へと向かうのだった。

■レギュレーション

- 使用経験点
- 必要な神業

経験点0~10点

2個以上の防御神業。

さらにそれに加えて、『証拠隠滅』を打ち消すならかの神業。